

1986年2月に富山県で観察された氷紋について

著者	黒田 久喜
雑誌名	富山市科学文化センター研究報告
号	9
ページ	99-100
発行年	1986-09-20
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=520

短 報

1986年2月に富山県で観察された
氷紋について

黒田 久喜

富山市科学文化センター

氷紋は、氷上の積雪中に0°C以上の水がしみ出し、さまざまな模様を形成する雪氷現象として知られている。また、これは北海道や東北などの少雪寒冷地域でよく観測されて、北陸のような多雪地帯では、結氷することが少ないうえに、氷紋ができて積雪でおおわれてしまうためなかなか観測できないとされている。

筆者は、1986年の冬たまたま氷紋を観察し写真に撮る機会に恵まれたので、ここにその記録しておく。

1986年2月11日午前11時頃に富山県射水郡小杉町の公園（太閤山ランド）内にある面積約150m²の女池に氷紋ができていた（図1，2）。

2月初旬は継続的に寒波にみまわれ、気温

の低い日が続いた。また、2月7日と10日の夜間は放射冷却が強く気温がかなり低下している。参考のため2月5日から11日までの小杉の気温と降雪深を表に示す。

これらの気象条件から、池は2月初旬に結氷し、その上に2月8日に15cm、9日に7cmの降雪があり、その後なんらかの原因で水が噴出し、氷紋が形成されたのではないかと思われる。

なお、小杉の気象データの提供をしていたいた気象協会富山支部、2月初旬の気象について御教示いただいた富山地方気象台防災課、氷紋についての貴重な資料を借用させていただいた富山大学雪氷学教室の対馬勝年助教授に深く感謝する。

文 献

- 高橋 喜平, 1980. 雪と氷の造形. 朝日新聞社.
- 東海林明雄, 1977. 湖水—沈黙の氷原・ミクロとマクロの謎—. 講談社.
- _____, 1973. 放射状模様水面の生成機構 I. 雪氷, 35(4): 5-11.

表 小杉の気温と降雪深

月 日	気 温 (午前9:00の値)	降雪深 (前日午前9:00から当日午前9:00までの値)
2月5日	-0.6°C	15 cm
6日	-1.2°C	1 cm
7日	-2.0°C	0 cm
8日	-3.5°C (放射冷却)	15 cm
9日	0.0°C	7 cm
10日	-1.5°C	—
11日	-3.0°C (放射冷却)	—



図 1



図 2

種類は放射状水紋，手前に小さな雪輪ができています。